

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】令和 7 年 6 月 9 日(2025.6.9)

【公開番号】特開 2024-31533(P2024-31533A)
【公開日】令和 6 年 3 月 7 日(2024.3.7)
【年通号数】公開公報(特許)2024-043
【出願番号】特願 2022-135168(P2022-135168)
【国際特許分類】

A 6 1 B 17/22(2006.01)

10

【F I】

A 6 1 B 17/22 5 2 8

【手続補正書】

【提出日】令和 7 年 5 月 30 日(2025.5.30)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

異物除去デバイスであって、
内側チューブと、
前記内側チューブの周囲を取り囲んで配置された外側チューブと、
前記内側チューブの外周面と、前記外側チューブの内周面との間に配置された筒状の拡張体と、
を備え、

前記拡張体は、前記異物除去デバイスの軸線方向にスライド移動することにより、前記内側チューブと前記外側チューブとに対する相対位置を変更することができる、異物除去デバイス。

30

【請求項 2】

請求項 1 に記載の異物除去デバイスであって、

前記拡張体は、

前記拡張体の先端と基端との両方が、前記外側チューブの先端よりも基端側に位置した第 1 位置と、

前記拡張体の先端が、前記外側チューブの先端よりも先端側に位置すると共に、前記拡張体の基端が、前記外側チューブの先端よりも基端側に位置した第 2 位置と、

の間でスライド移動する、異物除去デバイス。

40

【請求項 3】

請求項 1 または請求項 2 に記載の異物除去デバイスであって、

前記内側チューブの外周面と、前記外側チューブの内周面との間であって、前記拡張体よりも基端側には、環状の支持部材が備えられている、異物除去デバイス。

【請求項 4】

請求項 1 または請求項 2 に記載の異物除去デバイスであって、

前記内側チューブの先端部は、前記外側チューブの先端よりも先端側に位置しており、

前記内側チューブの外周面のうち、前記外側チューブの先端よりも先端側には、前記内側チューブの外周面が外側に向かって隆起した隆起部が設けられている、異物除去デバイス。

50